

事務事業マネジメントシート(平成30年度実績と平成31年度計画)

令和 2 年 2 月 20 日 更新

事務事業名		青少年教育関連事業（成人式）					☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	自治の健康				所属部	教育委員会事務局	課長名	栗木 清智
	施策	1	市民参画によるまちづくりの推進				所属課	生涯学習課	担当者名	境 真奈美
	施策の柱	1	地域づくり(まちづくり)人材の育成				所属班	生涯学習班	(内線)	1505
予算科目		会計一般	款 10	項 5	目 1	事業連番 10333	根拠法令			
終了、開始年度		☐ 30年度で終了 ☐ 30年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要（PLAN）

【事業の内容】	新成人を祝う節目として、毎年1月に成人式典を開催している。式典は、新成人者で組織する実行委員会を立ち上げ、企画・立案し、当日の運営を役割分担して行う。式典の内容については、その年の実行委員会にて異なるが、主に市長式辞、来賓者挨拶、新成人の誓いの他にアトラクションや全体での記念撮影が行われることが多い。
【業務の流れ】	①実行委員の選出（HP、広報で公募）②実行委員会の開催（5回程度）③記念品の発注 ④来賓等式典関係者へ出席依頼文の発送 ⑤式典 ⑥お礼状及び記念品等の発送
【主な予算費目】	報償費（手話通訳謝金）、消耗品費（装花代）、役務費（案内用切手代、写真送付用切手代）、補助金（成人式実行委員会）
【意見や要望】	成人としての自覚を持ち、貴重な地域の人財として成長してほしいとの声がある。

1 現状把握の部（DO、PLAN）

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 30年度実績(30年度に行った主な活動) (DO) 平成31年1月13日に総合センター「ヴィーブル」文化会館にて式典開催。新成人676人に通知書を発送した。成人式実行委員会を設立し、当日の運営について計画した。第1部の式典（市長式辞、来賓挨拶、交通安全宣言、記念品贈呈、新成人誓いのことば）後、第2部のアトラクション（スライドショー上映、恩師からのメッセージ）を行った。		31年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 日程は、現在未定。（平成31年1月実施後、日程を決定する予定） 会場については、合志市総合センター「ヴィーブル」文化会館の予定。 内容については実行委員会で協議し決定する。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア: 成人式典出席人数	人	新成人全体写真の郵送料の切手代を削減したため。
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
→ イ: 新成人になる市民	人	→ ア: 新成人となる市民の人口
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
→ まちづくり活動に参画する	%	→ ア: 市の行う説明会や行事、イベントなどに参加している市民の割合(市民アンケート)
*③成果指標設定の理由と31年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
本市では人口が増加しているものの、若者（15歳から24歳まで）の転出超過しているため、成人式を機会に地域づくり人材としての広報や企画を行う必要がある		0

(2) 各指標・総事業費 の推移		単位	28年度 実績(決算)	29年度 実績(決算)	30年度 目標(当初予算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	2年度 予定	3年度 見込	4年度 見込	
① 活動指標	人	人	485	443	500	467	500	500	0	0	
② 対象指標	人	人	661	639	650	676	650	650	0	0	
③ 成果指標	%	%	0	25.6	65	23.2	65	67	0	0	
投資 入費 量	事業 費 内 訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	1,225	1,299	795	723	740	830	830	830
	(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円	1,225	1,299	795	723	740	830	830	830
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		人件 費	正規職員従事人数	人	4	8	10	5	10	10	10
	延べ業務時間		時間	388	425	440	39	440	0	0	0
	(B)人件費計		千円	0	1,681	1,752	153	1,752	0	0	0
	トータルコスト(A)+(B)		千円	1,225	2,980	2,547	876	2,492	830	830	830

事務事業名	青少年教育関連事業（成人式）	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	----------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は30年度の後評価、ただし複数年度事業は30年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①30年度目標達成度評価	☐ 達成した ☒ 達成しなかった ⇒【原因】 少子高齢化や希望する就職等がなく若者の流出が多くなっているが、今後、本市を活性化させるためには若者の活発な活動が不可欠である。 成人式という節目を迎えることで、郷土への愛着を深め、地域貢献の意識を向上させ、積極的な地域活動を促進させたいが、現実的には難しい。
	②31年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 地域の活動に若者が参入していける仕組みづくりが必要。 地域の人たちと関わりを持ち、助け合いの精神を形成するということを目標に、本式典において啓発活動を実施した。
有効性評価	③成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 若者が参加したいと思う自主講座を企画し、参加してもらうことで地域づくりへの興味をもつきっかけをつくるなど向上の余地がある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 【前年度内容】古い歴史を持つわが国独特の事業であり、連携や統合はできない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 最低限の経費で事業を行なっているため、削減の余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 多数の若者に式典出席を求める以上、必要な職員配置は必須であり、これ以上の人件費の削減は困難である。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 対象者である新成人者の、大人としての新しい門出を祝福する事業であり、受益者負担の考え方はなじまないと思われる。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 式典の段取りは担当課が主体となっており、アトラクションについては、実行委員会により企画・運営を行なっていることから、役割分担は適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

少子高齢化により、若者が減少しており、地域に参加する若者がいない状況である。今後は、若者が参加したいと思うような自主講座の企画や成人式の開催など、地域に入っていくようなきっかけづくりを行い、市の魅力を伝える必要がある。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☒事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）				(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上		○																									
	維持																											
	低下																											
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																												